

## 令和6年度学校評価（中間）まとめ

\*アンケート結果の%については、肯定的意見の合計です。（そう思う・どちらかと言えばそう思う）

### I. 自らの命を守り抜く安全・防災・健康教育

- ・ほとんどの生徒が「学校の集団生活のルールやマナーを守っている」という意識がある。（生徒96%）
- ・交通安全に気をつけている回答が多い。（保護者89%）。自転車の利用については登下校でルールやマナーが守られていない時もある。学校と家庭で共に指導をしていきたい。

### II. 誇りを感じる学校・学級集団

- ・「楽しく学校生活が送れている」（生徒94%）「楽しく学校に行っている」（保護者93%）は親子ともに数値が高い。少数ではあるが学校生活に悩みや困り事がある生徒もあることがうかがえる。相談や一人ひとりが良い学校生活を送れるように、教育相談等を行う。

### III. 存在感や成就感を大切にした生徒指導

- ・いじめについては「絶対に許されない」と考えている生徒がほとんどであり（97%）、いじめを見たり、聞いたりした場合に「相談する」割合も高い（90%）。いじめ問題の早期発見、早期解決に向けてこれまで通り努めていく。
- ・情報機器も使い方については「ルールを守っている」（87%）「守らせている」（75%）であり、親子の認識が少し異なっている。  
SNSなどの中学生時期の正しい使い方に関しては学校でも指導しているが、事件、事故に巻き込まれることが後を絶たない社会事情を踏まえ、家庭でも十分に注意をしていただきたい。

### IV. 豊かな人間性・社会性を育む道德教育、人権教育

- ・道德の時間には自分の生活や生き方を見つめ、振り返っている様子が見られる。（88%）
- ・道德の時間のみならず、日々の学校生活で人権教育を大切にし、自分も人も大切にできるよう指導していく。

### V. 将来や社会の糸口をつかむキャリア教育

- ・「自分に良いところがある」は85%で、多くの生徒が自分を大切に思っている。これからも自尊感情を高める機会を逃さないよう、結果だけに左右されず、取り組みの過程や本人の思いをくみ取って評価していくことを大切にしたい。

### VI. 基礎力・思考力・実践力を育む学習指導・授業改善

- ・予習や復習等の家庭学習に取り組んでいる率が低い（生徒64%）（保護者56%）。アンケートでは全体の質問項目で最も低い数値であり、本校の課題である。短い時間でもできる各教科の予習課題を出し、家庭で翌日の学習の準備ができるように学校でも働きかけていく。
- ・疑問を教師に尋ねて解決している割合がやや低い。（生徒71%）理解度を確認しながら授業をすすめ、質問できる環境を作る。
- ・「授業が楽しくわかりやすい」という回答が多い（生徒88%）（保護者80%）。ねらいとふり返りを確実に実行、達成感のある授業ができるように努める。

## VII. 支え愛に満ちた活気あるコミュニティ・スクール

- ・挨拶ができている。(生徒92%) (保護者79%)
- ・家庭内での対話ができているので(保護者94%)、これからも学校の様子を発信しながら、保護者や地域との連携を深めていく。

### その他、自由意見について

- ・酷暑が続き、体育祭の開催時期にご意見がありました。今後の検討課題とします。体育祭以外の年間行事とも兼ね合いがあります。
- ・部活動は部によっては地域移行が実施されており、部活動指導員の方にもお世話になっています。これまでの部活動と少しずつ変化している所もありますが、保護者のみなさまにご理解いただけるように、説明していきます。また、欠席連絡をグーグルメールで行っています。気になることがありましたら、お声かけください。